

ブルーベリー害虫ミズキカタカイガラムシの生態と防除法

ミズキカタカイガラムシはブルーベリーのほかに、ブドウ、モモ、カキ、ヤナギ、カエデなどの多くの植物に寄生するカイガラムシです。ブルーベリーの収穫期頃になると本種のふ化幼虫が果実上を歩行するため、発生が多くなると収穫果に幼虫が混入するなどの問題が発生します。ここでは、ミズキカタカイガラムシの生態と防除法を紹介します。

ミズキカタカイガラムシの生態



ミズキカタカイガラムシの防除法

越冬幼虫を対象として、「発芽前」にマシン油乳剤（ラビサンスプレー）30倍を手散布します



ラビサンスプレーによるミズキカタカイガラムシの防除効果

供試薬剤	希釈倍数	散布3日前生存虫数	散布11日後生存虫数	補正死亡率
ラビサンスプレー	30倍	1199	5	99.4
無処理	-	1310	888	0

散布日：令和4年4月8日

地際部にも寄生しているので、下草を取り除いて薬液がかかるように、ていねいに手散布します

ミズキカタカイガラムシの天敵

アカホシテントウ



カイガラに穴を開けて中の卵を食べています

幼虫は害虫に間違われることもありますが、天敵（良い虫）です



成虫

アカホシテントウは幼虫と成虫のどちらもミズキカタカイガラムシを食べます